

第10回草津市総合計画策定委員会概要		
日 時	平成21年8月24日（月）13時30分～15時30分	
会 場	庁議室	
出席者	橋川委員長、山岡副委員長、三木委員、加藤委員、林田委員、北川委員、山本委員、田内委員、勇委員、善利委員、中村好委員、片岡委員、岸本委員、上寺委員、平井委員、田村委員、森委員、中村良委員、鈴川代理委員	

## 1. 開会

## 2. 議事

### 1) リーディングプロジェクト（素案）について

事務局から説明

《意見等》

- ・ 前回の幹事会で、20日までにリーディングプロジェクトに対して意見を事務局まで出すことになっていたが、各部からは全て意見は出ているのか。どこまで反映できているのか。  
→ まだ、全部は反映できていない。個別に副部長と協議したのものもありますが、各課まで全て協議して載せているわけではない。
- ・ 7ページに「まちなかのにぎわいが魅力的なまち」とあるが、にぎわいだけで良いのか。また、中心市街地イベントプロデュース事業は、市主体ではなく地元が主体となるので、支援事業としたほうが良いのではないか。それと、11ページの「ユニバーサル・デザインによるうれしいアップ策」の中に、「まちのバリア」と「まちなか」とあるが、どのように区分しているのか。  
→ 「まちのバリア」はまち全体を意味している。まちなかは、基本構想にある中心市街地を意味している。
- ・ 基本計画はまちなかを中心にやっており、そこへ行くためのバリアも減らしているということか。また、観光分野の事業は何もないのか。  
→ 観光分野については、例えば、「ビジターズビューロー草津」のように、草津をセールスプロモーションしていけるような事業を考えていた。9月に開催される、烏丸半島のイナズマロックフェスティバルを誘致できるように、草津をアピールしていく場を作っていこうということができれば良いが。原課から実現は難しいとの意向であり削除した。
- ・ 基本計画は全ての施策を網羅しており、その中から、この3カ年間、全体の施策を推進していく事業としてリーディングプロジェクトを位置づけている。まだ全ての事業を網羅出来ていないが、プロジェクト会議等で議論し、現時点では2つの大きな括りのアップ策で、その下にそれぞれの事務事業レベルでリーディング事業として載せており、それを各部、各課に照会することになっている。まだ具体的な事業の名前も確定していない。しかし、この事業が、ある程度切り口をイメージ出来るように、具体性のあるものを3カ年の目標を立てて、議論しなければならない。この資料は、事業のイメージが浮かびにくく物足りないような感じがするので、委員の意見が出やすいように、見え消しで書いている。「これもっといいよ」というようなリーディング事業を提案していただきたい。再度検討してもらい、1週間後を目途に策定委員会

を開催したい。

- ・10ページの資源活用によるアップ策に歴史があったが、10ページの文化の方が分かりやすいと思うが。

→リーディングプロジェクトにおいて、これも出すあれも出すとなると、事業が膨らんでいき、肝心の基本計画との整合が取れるのか、結局、基本計画事業の再掲となっている。

- ・リーディングプロジェクトの定義をしっかりとしておく必要がある。全てに網羅してないとなると、どのような経過で議論されあがってきたのかが、大事な説明責任である。

- ・最後ページに表があり、リーディング事業毎に基本計画の各分野を引っ張っていくことが出来ることになっているが、この○印が多くついてくると、全ての分野に対応しなければいけないのではないかと、また、全てに○印がつく必要はなく、リーディングプロジェクトはこういうものではないだろうという考え方があつた。ただ、強いインパクトを持つ事業が多くなるわけではなく、バランス良く書いてしまうことになり、事務局としても疑問を持っている。

→前回の幹事会まで議論してきたが、どういう形で出すのが良いかは意見が分かれていた。最終的には「元気」と「うるおい」という切り口を事務局が提案し、確認をしてもらった。この中身については、シンプルにそれぞれ1つずつぐらいにして、大きな事業を引っ張る提案にしてはどうか、また、もう少し広く対応してはどうか、もっと大きな施策レベルの事業を入れてはどうかなど多くの議論があつた。今すぐに最終的な結論が出ないので、一旦、幹事会でまとめた後、策定委員会に諮ることになった。色々な人の意見を聞いて最終的には良いものに持っていきたい。今回は、幹事会で提案された内容も含めて公開しているので、多くの意見を出してもらいたい。

- ・リーディングプロジェクトは何かということを通認識する必要がある。それから手順について、各部・各課の意見を十分に論議して書いたところもあるが、そうでないところもある。再度幹事会等に返して策定委員会にはかることになるのか。それはどうなのか。

→プロジェクトチームでも何度も議論を行いました。また、職員の声も聞いたらどうだということで、電子掲示板にて募集を行い、2件提案をいただきました。このように今まで議論を重ねてきましたので、またプロジェクト会議に戻すことは考えていない。策定委員会で、ある程度の方向性を固め、それを受けて各部に事務事業を汲み取っていってもらえば良いと考えている。基本計画についても、各課ヒアリングを行いこの方向性を固めたので、同じように考えている。

- ・財政運営計画との関係はどうなるのか。

- ・現段階では、財政運営計画は9月議会において説明を行う。基本はハード事業なので、リーディングプロジェクトが全て載るわけではない。基本は向こう3年間の全てが財政運営計画に入っている訳ではないという説明が必要になる。

- ・9月3日に策定委員会を開催するので、内容については今週中に見直しをお願いしたいのですが、各課からの提案は現実的になってしまっており、新しい部分ではなく今の仕事から汲みあげている。新たな取り組みのような、そういう切り口で議論をお願いしたい。ただ、最終的には事務事業レベルになるが、現段階では事務事業が確定しないこともあるので、もう少し大きいレベルの事業の名称でも構わない。

→リーディングプロジェクトは、基本構想の都市ビジョンに掲げた「出会いのふるさと元気とうるおいのあるまち草津」を、そういうまちにしていくために先導する事業は何か、ビジョンに一番近づけるような、先導的な役割を担う事業が1つの柱になる。事務事業の積み上げから出来るものでなく、これをしたらこの元気が出てくる、草津のうるおいが出てくるという事業を、先にある程度膨らませて、それが事務事業として基本計画の中にも入ってくるようになる。具体的にどのような事業をしていくのかを3カ年の中で考えていくと、その事業は当然に基本計

画の中に入り、全て事務事業を網羅することになります。

- ・事務事業とリーディング事業と並べ方について、それは全体の中にこれが入ってあって、第1期3カ年の中にリーディング事業という位置づけになるということか。細かい事業も3カ年の中でやっていき、リーディング事業は、きちりとした位置づけで、もう1つウェイトをきつく置き、意識しながら進めていくということか。
- ・これが他の事業と違ってリーディング事業である理由が大切になる。原部から「私のところはまずこれだ」という提案があると思う。しかし、客観的に見てこれがそういう枠組みの中で引っ張るものだという何らかの説明が必要である。また、基本構想の庁内説明は事務局で行ったのか。これは来年から動く事業ですので全庁的に伝えてはどうか。

→この後に各課長の説明会を考えております。9月の中旬ぐらいになると思います。

- ・1ページに、「将来ビジョンを受け、構想期間において本市まちづくりを先導する」と書いてあり、そしてプロジェクトの設定条件にも『「10年間で強力で推進するもの」＝「10年間で一定の達成を見込むもの」』と書いている。10年間の中長期目標があり、それぞれ基本計画の更新を行い、その下に第1期間に、10年を目標とした事業の中から「3年間で何をするのか書け」ということになる。例えば、10年間を見たら大プロジェクトとなるが、3年間は準備期間となる事業もあり、そのような場合はどうなるのか。10年間を見て書けるものはあるが、第1期の基本計画には書けない場合もある。その整合はどうすれば良いのか。
- ・大きな事業で継続的に取り組まないといけない事業は当然のこと、10年先の施策まで分からないこともある。しかし、その10年間のイメージに向け、3年間は準備する事業もある。例えば、本格的に進むのは後になるが、クリーンセンターならば大プロジェクトであろう。
- ・このリーディング事業にある家庭保育作業の場合、これだとすぐに実施事業になる。一方、高齢者のところでは、高齢者福祉事業である中の象徴のようなものになっている。このような場合、どのような形で意見を整理して修正を行えば良いのか。

→資料の1の「設計条件」に書いているものが全てです。10年先は予想できない部分もありますが、方向性を出すために、まずは中長期的目標を立てることになる。よって、10年先を見据えて、第1期の3年間で具体的に動かない事業は載せられないが、クリーンセンター事業ならば少なくとも何らかの行動ができるのではないかと。そういう認識で幹事会でも整理をしてきた。

- ・結局は、市長の2年目以降のマニフェストだと思う。そうした場合、第1期末が何を完結しなければならないかが、非常に求められる。市民からすれば、市長が変わっても何も変わらないというような綴り方ではなく、これを完成させましたということが必要ではないか。「これはやります」ということをきちり示して、抽象論を言うてはいけない。例えば、教育のところでは「くさつ・学力向上プログラム」を絶対やろう、食育について取り組むことで、給食センターで何ができるかという視点が必要でないか。
- ・大きいプロジェクトは、確かに何年かかる場合がある。その状態をするために、具体的に何をするかを入れないと、長期の継続事業ばかりになる。ただし、リーディング事業は具体的な事務事業名であげてもらうことになる。

→幹事会でも、原課に遠慮していることもあり、あまり踏み込めなかったということはあると思います。

- ・財政運営計画に載っている事業は、当然にリーディング事業になってくる。3カ年の根幹的な事業になるので、それは必須になるのではないかと。提案型のような事業ではないのではないかと。
- ・財運計画や財政シミュレーション事業、マニフェスト事業など、それらも含めてリーディング事業としてふさわしいものを提案してもらうことになる。

- 2) 地域経営の方針について
- 3) 基本計画（素案）について

事務局から説明

《意見等》

- ・これはどのように意見を求めるのか。
- 次回の策定委員会までに内容を確認いただき、今週中に意見等をいただきたい。

—以 上—